

2021年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～5 組	教科	国語	科目	国語 A
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	読み・書き・発表・の基礎・基本を繰り返すことで、ものごとを論理的に理解し、考え、他者に的確に説明するための能力を養う。自分や他者の感情、身の回りで起きていることに気づき、感じ、考える力を養う。				
教材	『国語3』（光村図書） 『書写』（光村図書）				
副教材等	『国語便覧』（浜島書店） 『中学必修テキスト』（文理） 『αスタンダード国語3』（文理） 『基本級別漢字』（浜島書店）				

1. 学習内容

- 1 文学的文章の読み方を学びます。登場人物の心情の変化やきっかけを読み取り、時代や状況が変化する中で自分を見つめていく大切さを考えます。
- 2 説明的文章の読み方と文章構成を学び、問題意識を持って、身の回りの事象を見たり考えたりします。
- 3 図書室やインターネットを活用して情報を取捨選択し、よりよい発表の仕方を学びます。
- 4 漢字問題集3級の中から範囲を決めて、週1回漢字朝テストを行います。

2. アドバイス

- 〇一つ一つの学習を丁寧に行うことが国語力アップにつながります。そこで次の6項目を毎日心がけてください。
- 1 授業をしっかり聞き、宿題や予習（語句の意味調べや新出漢字を覚える等）は必ず行うこと。
 - 2 教科書のキーワードや大意が分かるようになるまで繰り返し読むこと。
 - 3 考えたことや思ったことを書いたり話したりして進んで表現すること。
 - 4 板書をノートするだけでなく、教師が話す大事なところや自分の考えをメモすること。
 - 5 名作を中心に進んで読書すること。
 - 6 毎週行う「漢字朝テスト」の練習は早めに開始し、確実に覚えること。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・朝テスト ・宿題、課題 ・ノート、プリント提出
- ・授業を受ける姿勢

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	読	14	テストの復習 深まる学びへ	学力推移調査の復習 「握手」	問題の解き方を身につける 小説を読み、登場人物の考え方について、自分の考えをもつ	☐ ☐
	読	42	視野を広げて	「作られた『物語』を超えて」 「リオの伝説のスピーチ」	自分のものの見方を広げる	☐
	話					
	演		問題演習(V 模擬対策)	過去問		☐
1学期期末考査	読	62	情報社会を生きる	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	メディアリテラシーを身につける	☐
	話	70		「俳句の可能性」	俳句の形式を理解する	☐
	聞	74		「俳句を味わう」	俳句の情景を味わう	☐
	読	75		「俳句を作って楽しもう」	自分の気持ちを俳句で表現できる	☐
	書	178	読書に親しむ	「エルサルバドルの少女ヘスース」	世界の様々な問題に目を向ける	☐
2学期中間考査	演		問題演習(V 模擬対策)	過去問		
	読	246	学習を広げる	「高瀬舟」	安楽死について考える ディベートを通して、批判的な思考力を養う	☐ ☐
	読	94	状況の中で	「挨拶」	戦争について考える	☐
	演		問題演習	V 模擬過去問		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期期末考査			テストの復習	V 模擬の復習	問題の解き方を身につける	☐
	読	124	自らの考えを	「人工知能との未来」 「人間と人工知能と創造性」	人間と人工知能の関わりについて述べた二つの文章を読み、自分の考えをまとめる	☐
	読	126				☐
	演	98	状況の中で	「故郷」	小説を読み、登場人物の心情を理解する	☐
			高校入試対策	各種過去問	高校入試に向けて、努力することができる	☐
3学期学年末考査	演		高校入試対策	各種過去問	問題の解き方を身につける	☐
	読	263	学習を広げる	「アラスカとの出会い」	筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ	☐
	書	172		「情報を読み取って文章を書こう」	グラフの分析を基に小論文を書くことができる。	☐

2021 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～5 組	教科	国語	科目	国語 B
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	文法は知識を学ぶだけでなく、それを理解し使いこなせるようにし、読解につなげられるようにする。古典作品を通じ、当時の世界観を理解する。				
教材	『国語3』（光村図書）、『書写』（光村図書）				
副教材等	『国語便覧』（浜島書店） 『必修テキスト』 『中学実力練成 のスタンダード』 『ステップアップノート 30 古典文法基礎ドリル』				

1. 学習内容

○以下の内容を学習します。

- ・文法 … 口語文法の復習・古典文法（用言・助動詞）・漢文句形
- ・文学史 … 上代～近世の文学史
- ・古文、漢文 … 日本を代表する古文（和歌、紀行文）、漢文
本文暗記の確認テストも行います。
- ・書写 … 随時行います。
- ・作文・感想文・手紙文・俳句などの学習を随時行います。

2. アドバイス

- ・口語文法…学力推移に頻出する問題は繰り返し解き、文法部分は満点をねらうこと。
- ・古典はそれぞれの作品と時代背景とを重ねて学習していくと、さらに理解が深まります。
- ・文法の活用の暗記は、繰り返し音読することが一番の早道です。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・小テスト ・宿題、課題 ・ノート、プリント提出
 - ・授業を受ける姿勢
- ※随時、ノート点検を行います。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査		教28	テストの復習	学力推移調査の復習	問題の解き方を身につける。	☐
			文学史	上代の文学史	各時代の代表作品と特徴を理解できる。	☐
			百人一首	10首	上の句を読んでいる間に下の句をとることができる。	☐
					和歌の意味を理解している。	☐
			口語文法	αスタ・必修テキスト	2年次までを学習内容が問題演習を通して、定着している。	☐
			古典文法	ステップアップノート	古典の基礎知識・用言の活用を覚える。	☐
1学期期末考査		教144	漢文	「学びて時に之を習ふ」	学習した知識を使って古文・漢文を読むことができる。	☐
			文学史	中古の文学史1	各時代の代表作品と特徴を理解できる。	☐
			百人一首	10首	上の句を読んでいる間に下の句をとることができる。	☐
					和歌の意味を理解している。	☐
			口語文法	αスタ・必修テキスト	2年次までを学習内容が問題演習を通して、定着している。	☐
			古典文法	「ステップアップノート」	古典の基礎知識・用言の活用を覚える。	☐
夏休み	宿題	αスタンダード・天声人語・読書ノート・その他				☐
						☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査		教154	文学史	中古の文学史2	各時代の代表作品と特徴を理解できる。	☐
			百人一首	10首	上の句を読んでいる間に下の句をとることができる。	☐
					和歌の意味を理解している。	☐
			古典文法	「ステップアップノート」	古典の基礎知識・用言の活用を覚える。	☐
			古文	「夏草」	学習した知識を使って古文・漢文を読むことができる。	☐
			問題演習			☐

2 学期 期 末 考 査			文学史	中世の文学史	各時代の代表作品と特徴を理解できる。	☐
			百人一首	6首	上の句を読んでいる間に下の句をとることができる。 和歌の意味を理解している。	☐
			古典文法	「ステップアップノート」	古典の基礎知識・用言の活用を覚える。 基礎的な助動詞の意味と活用を覚える	☐
			古文・漢文	αスタ・他	学習した知識を使って古文・漢文を読むことができる。	☐
			書写	行書	正しい筆遣いで文字が書ける。	☐
			問題演習			☐
冬 休 み	宿 題	αスタンダード・天声人語・読書ノート・その他				
3 学 期 学 年 末			文学史	近世の文学史	各時代の代表作品と特徴を理解できる。	☐
			百人一首	10首	上の句を読んでいる間に下の句をとることができる。 和歌の意味を理解している。	☐
						☐

			古典文法 古文・漢文 書写 問題演習	「ステップアップノート」 αスタ・他 行書	古典の基礎知識・用言の活用を覚える。 基礎的な助動詞の意味と活用を覚える 学習した知識を使って古文・漢文を読むことができる。 正しい筆遣いで文字が書ける。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
春休み	宿題	αスタンダード・天声人語・読書ノート・スタディーサポート				

令和3年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～5 組	教科	社会	科目	公民
				単位数	3
教材	『社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して』 帝国書院				
「学び」の 目的とねらい	知識を蓄え、それを使って自分で考える力を身につける。 グローバルな視点で人間・社会を捉え、公民的資質を養う。				
副教材等					

1. 学習内容

講義内容：

地球をとりまく諸問題を解決する能力と態度を身につける。
地理分野、歴史分野をふまえて政治・経済・環境分野でグローバルかつローカルに考え
行動する力を身につける。

講義形式：

ノートを取るだけでなく、内容の整理・要約や自分の考えを述べる作業を授業ごとに課す。

2. アドバイス

【予習】：特に必要ありませんが教科書を読んでおくといいでしょう。

【授業】：社会は考える科目です。覚えるではなく、考える作業をしていきましょう。

授業後に心地よい頭の疲労があれば、その時のあなたの授業態度は合格点です。

【復習】：授業プリントやノートをもう一度読み直しましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

1. 小テスト、2. 宿題・課題、3. ノート提出

小单元ごとに確認テストをします。定期考査前には出題予想問題プリントで演習をします。

4. 學習指導計畫

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	第1部 政治	29-40	第1章 日本国憲法	第1節 民主主義と日本国憲法 1 民主主義と立憲主義 2 人権保障と法の支配 3 日本国憲法の成立 4 国民主権 5 日本の平和主義	権力、民主主義、立憲主義 ロック、ルソー、モンテスキュー 大日本帝国憲法と日本国憲法 国民主権、象徴天皇制、国事行為 集団的自衛権、日米安全保障条約	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		41-58		第2節 基本的人権の尊重 1 個人の尊重と憲法上の権利 2 自由権 3 平等権と差別されない権利 4 日本社会の差別の現実 5 社会権 6 政治に参加する権利と人権を守るための権利 7 これからの人権を考える	個人の尊重、国民の不断の努力 精神活動、経済活動、生命・身体 法の下での平等 アイヌ、ヘイトスピーチ解消法 生存権、教育を受ける権利 公共の福祉、国務請求権 新しい人権	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
1学期期末考査	第1部 政治	59-62	第2章 民主政治	第3節 法の支配を支えるしくみ 1 権力の分立 2 憲法の保障・改正と私たち	権力分立、国民審査 最高法規、違憲審査、国民投票	☐ ☐
		67-92		第1節 民主政治と私たち 1 国民の願いを実現するために 2 世論とマスメディア 3 政党の役割 4 選挙制度とその課題 第2節 国の政治のしくみ 1 国会の役割としくみ 2 国会の現状と課題 3 内閣の役割としくみ 4 行政の役割と課題 5 私たちの生活と裁判 6 人権を守る裁判とその課題	直接民主制、議会制民主主義 世論、マスメディア 政党、与党、野党 小選挙区、比例代表制 立法機関、国政調査権、二院制 委員会、本会議、議員立法 内閣、国务大臣、閣議、議院内閣制 行政権の拡大、規制緩和 三審制、司法権の独立 推定無罪の原則、裁判員制度	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	第2部 政治 ／ 第3部 経済	93-100	第2章 民主政治	第3節 地方政治と私たち 1 地方自治体と地方公共団体 2 地方公共団体のしくみと政治参加 3 地方財政の現状と課題 4 私たちと政治参加	団体自治、住民自治、地方分権 地方議会、首長、条例、直接請求権 地方交付税交付金、国庫支出金 投票率、政治参加	☐ ☐ ☐ ☐
		109-116	第1章 市場経済	第1節 私たちの生活と経済 1 経済活動とお金の役割 2 お金の使い方と経済の考え方 3 価格の働きと経済	生産、消費、分業、交換、貨幣 資源、希少性、資源の効率的分配 市場価格、均衡価格、寡占価格	☐ ☐ ☐
		117-126		第2節 消費者と経済 1 家計の収入と支出 2 消費生活と流通の関わり 3 消費者問題と政府の取り組み	所得、貯蓄、キャッシュレス決済 流通、小売業、卸売業 契約自由の原則、消費者基本法	☐ ☐ ☐
		127-144		第3節 企業と経済 1 私たちの生活と企業 2 企業活動のしくみ 3 金融のしくみと働き 4 企業競争の役割 5 働くことの意義と労働者の権利 6 労働環境の変化と私たち 7 企業の社会的責任	技術革新、土地、労働力、資本 私企業、公企業、株式会社 間接金融、直接金融、フィンテック 独占禁止法、公正取引委員会 労働基準法、労働組合法 非正規雇用、ワーク・ライフバランス 社会的責任(CSR)	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		145-152		第4節 これからの日本経済 1 景気の変動とその影響 2 日本銀行と金融政策 3 グローバル化と日本経済 4 これからの日本経済と私たち	景気変動、国内総生産(GDP) 発券銀行、金融政策 為替レート、円高・円安、多国籍企業 経済活動のデジタル化	☐ ☐ ☐ ☐
		157-168	第2章 財政	1 私たち生活と財政 2 国の支出と収入 3 社会資本の役割と環境の取り組み 4 社会保障と私たちの生活 5 これからの日本の財政	財政政策、公共事業 直接税、間接税、累進課税 循環型社会 社会保険、公衆衛生、社会福祉 公的扶助 「大きな政府」、「小さな政府」	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2学期期末考査	第3部 経済					

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3学期学年末考査	第4部 国際 第1部 現代社会	173-186	第1章 国際社会	第1節 紛争のない世界へ 1 国家と国際社会 2 領土をめぐる取り組み 3 国際連合の働きとしくみ 4 現代における紛争 5 兵器の脅威と軍縮への努力 6 グローバル化が進む国際社会 7 国際社会における日本の役割	主権国家、排他的経済水域 国際司法裁判所 国際連合、国連平和維持活動 地域紛争、難民 核拡散防止条約、国際原子力機関 南北問題、南南問題、EU ASEAN、APEC	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		189-196		第2節 貧困解消と環境保全 1 貧困問題とその解消 2 地球規模で広がる環境問題 3 資源・エネルギー問題 4 国際社会のよりよい発展	食品ロス、ODA、フェアトレード 地球温暖化、京都議定書、パリ協定 3R、再生可能エネルギー 持続可能な開発目標(SDGs)	☐ ☐ ☐ ☐
		203-204		1 持続可能な社会を目指して	持続可能な社会	☐
		3-12	第2章 課題の研究	第1節 現代社会の特色 1 情報化が進む現代 2 グローバル化が進む現代 3 少子高齢化が進む現代	情報通信技術、個人情報 グローバル化、多文化共生 少子高齢化、バリアフリー化	☐ ☐ ☐
				第2節 私たちの生活と文化 1 生活に息づく文化 2 日本の伝統と文化	異文化理解 年中行事、伝統文化	☐ ☐

令和3年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～4 組	教科	社会	科目	歴史
				単位数	1
『学び』の 目標とねらい	他国との関係の中での日本の動きを把握し、国際情勢は自分たちの生活と密接に結びついていることを実感する。				
教材	『中学生の歴史』 帝国書院				
副教材等	【必携】『中学校スタンダード 歴史資料』 帝国書院 授業ノート				

1. 学習内容

近現代史の歴史を中心に学習し、世界の動向の中での日本の動きを理解することを目標とし、世界とのつながりによって日本がどのように変化していたのかに着目し、日本の歴史を中心に、世界史と関連づけながら授業を展開していきます。

歴史は単なる暗記科目ではありません。なぜ、そのようなことが起きたのか、時代背景、政治状況、対外関係等を踏まえながら考えていき、思考を深めていく科目です。自分の頭で“考えていく”ことをしなければなかなか理解することはできません。授業では、“考えること”が必要です。50分間しっかり考えていきましょう。

2. アドバイス

【復習】

授業前日には、前回の内容をよく復習していきましょう。歴史は積み重ねの学習です。

【授業】

歴史は考える科目です。覚えるではなく、考える作業をしていきましょう。授業後に心地よい頭の疲労があれば、その時のあなたの授業態度は合格点です。

【試験前】

授業ノートや授業プリントをよく見直し、歴史の流れを事件等の背景を踏まえて、文章で説明できるようにしましょう。単語だけを覚えてただけでは、良い点数は取ることができません。

【その他】

歴史用語では難しい漢字が多く出てきます。丁寧に漢字を書き取り、難しい読みの漢字には、振り仮名をしっかりとふっておきましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査・週課題

平常点(課題・ノート提出)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1 学期 期末 考查	二度の世界大戦と日本	176-183	帝国主義と日本	アジアの列強をめざして 日清戦争、日露戦争 韓国併合	日清戦争・下関条約・日露戦争 韓国併合、辛亥革命 日本の工業化による人々の生活の変化	☐ ☐ ☐
		184-185	アジアの強国の光と影	日本の産業革命		
		214-221	軍国主義と日本の行方	世界恐慌と行きづまる日本 欧米諸国が選択した道 強まる軍部とおとろえる政党 戦争につき進む日本	世界恐慌とその影響について考える 満州事変とその後の国内の状況を理解し、15年戦争について考える。	☐
		224-233	アジアと太平洋に広がる戦線	第二次世界大戦への道 太平洋戦争と 植民地支配の変化 戦局の悪化と戦時下の暮らし	第二次世界大戦のはじまり、経過、結果について、また、その間の国民生活についても考える。	
2 学期 期末 考查	現在に続く日本と世界	238-239 240-241	敗戦から立ち直る日本	敗戦からの出発 新時代に求められた憲法	日本国憲法、民主化の動きについて学ぶ。	☐
		244-245 248-249	世界の多極化と日本の成長	日本の独立と世界の動き 冷戦下での日本とアジア	冷戦状況、朝鮮戦争、日米安全保障条約、日本の国連加盟について学ぶ。	☐
		250-251		経済成長による日本の変化	日本の高度経済成長によって社会や生活がどのように変わったのかを学び、戦後、日本が近隣諸国とどのように関わりを持ったのかを学ぶ。	☐

			修学旅行の事前学習	奈良・京都・広島学習	奈良・京都の歴史学習、広島に関わる平和学習。	□
3 学期 学 年 末 考 査		256-257 258-259 260-261	これからの日本と世界	グローバル化が進む社会 激変する日本とアジア 国際社会におけるこれからの日本	冷戦終結後の国際社会の変化を学ぶ。	□

2021 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1～4組 スタンダード	教科	数学	科目	数学A
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	1年2年の学習を基に発展的な内容を行い，高校数学の基礎となる論理的思考力を養う。				
教材	未来へひろがる数学3（啓林館）／ 数学Ⅰ Advanced（東京書籍）				
副教材等	【必携】 WinPass 中学数学3（文理）／ Hi-PRIME 数学Ⅰ+A（東京書籍）				

1. 学習内容

（中学3年）

2章 平方根…意味を理解し、計算ができるようになる。

3章 2次方程式…2次方程式について理解し、利用できるようになる。

4章 関数 $y = ax^2$ …具体的な事象のなかから2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解する。また、それらの関数関係を見だし、表現し、考察できる。

（数学Ⅰ）

1章 数と式…文字を含んだ式の扱いに慣れる。整式の展開や因数分解ができる。根号を含んだ式の計算ができる。

（中学総復習）

高校入学前に、基礎的な内容から入試レベルまでの総復習を行い、実力をつける。

2. アドバイス

【予習】

シラバスを参考にして、授業のノートおよび教科書に目を通す。10分でよい。

【復習】

授業で扱った問題をその日のうちにもう一度解いてみる。

日頃より問題集を使い、類題を積極的に解いていく。

【その他】

始業ベル前に授業に必要なもの一式を机の上に用意しておく。忘れ物をしない。

板書事項は見やすくノートに書き、自分の言葉で板書以外の重要部分を書き足していく。授業中の疑問点は、なるべくその日のうちに確認しておくこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

・小テスト ・朝テスト ・宿題 ・課題 ・ノート提出 ・授業を受ける姿勢

※上記項目を総合的に判断し成績をつけます。提出物の期限厳守。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期 中間考査	2章 平方根	p38	1節 平方根	①平方根	○いままで学習した数とは異なる数があることを理解する。	☐
		p50	2節 根号をふくむ式の計算	②平方根の値 ②有理数と無理数 ①根号をふくむ式の乗除 ②根号をふくむ式の計算	○根号を用いて数の平方根を表すことができる。 ○平方根の大小を判断し、不等号を用いて表すことができる。 ○ $\sqrt{\quad}$ 記号を用いて表す数の実際の値について調べる。 ○有理数と無理数の特徴を知り、分類する。 ○根号をふくむ式を簡単な形に変形できるようにする ○平方因数を根号の外へ出す変形ができる ○根号をふくむ式の乗法除法ができるようにする ○分母の有理化ができるようにする ○根号をふくむ加法減法ができるようにする	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
1学期 期末考査	3章 2次方程式	p66	1節 二次方程式とその解き方	①二次方程式とその解き方 ②二次方程式の解の公式 ③二次方程式と因数分解	○二次方程式の意味を理解する。 ○二次方程式の解、二次方程式を解くことの意味を理解する。 ○平方根の考えを使って二次方程式を解くことができる。 ○完全平方式をつくって二次方程式を解くことができることを知る。 ○解の公式を使って二次方程式を解くことができる。 ○「 $AB=0$ ならば $A=0$ または $B=0$ 」であることを理解し、それを利用して二次方程式の解を求めることができる。 ○因数分解を使って2次方程式を解くことができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		p79	2節 二次方程式の利用	①二次方程式の利用	○二次方程式になるいろいろな問題例と、その立式における考え方を理解する。	☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	4章 関数 $y=ax^2$	p90	1節 関数 $y=ax^2$	- 関数 $y=ax^2$ - 関数 $y=ax^2$ のグラフ	○ 事象のなかから $y=ax^2$ の関係にある量を見だし、式に表すことができる。 ○ 2乗に比例することの意味を理解する。 ○ 1組の x, y の値から $y=ax^2$ の式を求めることができる。 ○ $y=x^2$ のグラフとその特徴を理解する。 ○ $y=x^2$ のグラフをもとに、$y=ax^2$ のグラフをかくことができる。 ○ $y=ax^2$ のグラフの特徴を理解する。 ○ 身近に見られる放物線の例を知る。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		P102	2節 関数 $y=ax^2$ の値の変化	- 関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域 - 関数 $y=ax^2$ の変化の割合	○ 関数の増加減少について理解する。 ○ 関数の変域について理解する。 ○ 変化の割合の意味とその求め方を知る。 ○ 関数 $y=ax^2$ のいろいろな区間における変化の割合を求めることができる。 ○ 関数 $y=ax^2$ と1次関数の変化の割合を比べる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		p110	3節 いろいろな事象と関数	- 関数 $y=ax^2$ の利用 - いろいろな関数	○ 関数 $y=ax^2$ を利用して事実問題を解くことができる。 ○ 放物線と直線を利用して問題を解くことができる。 ○ 放物線と直線の交点を、連立方程式を利用して求められる。 ○ $y=ax^2$ 以外の関数のグラフをかいたり、その関数を利用して事実問題を解くことができる。	☐ ☐ ☐ ☐
2学期期末考査	1章 数と式 (高校／数学Ⅰ)	p6	1節 式の計算	- 整式 - 整式の加法・減法・乗法 - 因数分解	○ 文字を含んだ式の約束を確認し、正しく文字を扱うことができる。 ○ 加法、減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 ○ 乗法公式を使うことによって、展開を能率的に行うことができる。 ○ 分配法則・乗法公式を逆に用いて因数分解できる。 ○ 複二次式・3次の乗法公式を使った因数分解ができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
	中学総復習		中学の総復習	中学1～3年の復習 高校入試演習	○ 中学校で学習した基本事項を再確認し、問題を解くことができる。 ○ 付属高校入試問題、公立高校入試問題を解くことができる。	☐ ☐
学年末考査	1章 数と式（高校／数学Ⅰ）	p22	2節 実数	1 実数 2 根号を含む式の計算	○ 実数の分類ができる。 ○ 実数の特徴を理解し、結合法則・分配法則・交換法則を使って計算ができる。 ○ 1学期に学習した平方根の基礎的な計算ができる。 ○ 乗法公式を利用し、根号を含む式の計算ができる。 ○ 根号と絶対値の関係を理解し、計算ができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		p34	3節 1次不等式	1 不等式とその性質 2 1次不等式の解法 3 不等式の応用	○ 不等号の意味を理解し、不等式の扱いに慣れる。 ○ 不等号の向きに注意しながら不等式を解くことができる。 連立不等式では共通部分を求めることを理解し、計算できる。	☐ ☐ ☐

2020 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1～4組 スタンダード	教科	数学	科目	数学 B
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	1年2年の学習を基に発展的な内容を行い，高校数学の基礎となる論理的思考力を養う。				
教材	未来へひろがる数学3（啓林館）／ 数学 A Advanced（東京書籍）				
副教材等	【必携】 WinPass 中学数学3（文理）／ Hi-PRIME 数学 I+A（東京書籍）				

1. 学習内容

（中学3年）

6章 円…円周角について学び、様々な角度が求められるようになる。円周角に関する定理についての理解を深める。

7章 三平方の定理…三平方の定理について理解し、それを用いることができる。

8章 標本調査…1年次の資料の整理をさらに進めて、調査の方法からその調査で得た資料をどう整理すると正しい理解につながるかを学習する。

（高校数学A）

3章 図形の性質…中学で学んだ図形の性質や合同・相似を復習しながら、それらを発展させ、図形の問題が解けるようになる。

2. アドバイス

【予習】

シラバスを参考にして、授業のノートおよび教科書に目を通す。10分でよい。

【復習】

授業で扱った問題をその日のうちにもう一度解いてみる。

日頃より問題集を使い、類題を積極的に解いていく。

【その他】

始業ベル前に授業に必要なもの一式を机上に用意しておく。忘れ物をしない。

板書事項は見やすくノートに書き、自分の言葉で板書以外の重要部分を書き足していく。授業中の疑問点は、なるべくその日のうちに確認しておくこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

・小テスト ・朝テスト ・宿題 ・課題 ・ノート提出 ・授業を受ける姿勢

※上記項目を総合的に判断し成績をつけます。提出物の期限厳守。

4. 學習指導計畫

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	7章 三平方の定理	P180	1節 三平方の定理	①三平方の定理	○ 正方形の面積の関係を辺の長さの関係におきかえることから、三平方の定理の意味とその証明を理解する。 ○ 三平方の定理を使って辺の長さを求めることができる。 ○ 特徴的な直角三角形の辺の比を知る。 ○ 三平方の定理の逆を理解し、直角三角形であるかの判断をする。	☐ ☐ ☐ ☐
		p188	2節 三平方の定理の利用	①三平方の定理の利用	○ 正方形の対角線の長さや正三角形の高さ、長方形の対角線、二等辺三角形の高さを求めることができる。 ○ 特別な直角三角形の辺の長さの比を知り、それを利用して線分の長さを求めることができる。 ○ 円の弦の長さ、接線の長さを求めることができる。 ○ 直方体の対角線の長さを求めることができる。 ○ 円錐や角錐の高さを求め、体積を求めることができる。 ○ 定理を利用して、いろいろな問題を解くことができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
1学期期末考査	V 模擬対策		中学1, 2年の復習	中学1, 2年の復習	○ 中学1, 2年生で学習したことを再確認し、問題を解くことができる。 ○ V模擬の過去問を解くことができる。	☐ ☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	6章 円の性質	p160	1節 円周角と中心角	- 円周角と中心角 - 円周角の定理の逆	- 円周角と中心角の関係を理解し活用する。 - 直径上の円周角が直角となることを理解する。 - 円周角の定理の逆が成立することを確認することができる。 - 角度から、円に内接する四角形かどうかの判断ができる。	☐ ☐ ☐ ☐
		p170	2節 円の性質の利用	円の性質の利用	- 円周角の定理を利用して作図ができるようになる。 - 円周角の定理と相似の総合問題を考える。 - 方べきの定理を理解し、活用できるようになる。	☐ ☐ ☐
2学期期末考査	8章 標本調査とデータの活用	P202	1節 標本調査	- 標本調査の方法 - 母集団と標本の関係 - データを活用して問題を解決しよう	- 標本調査と全数調査の違いを理解し、標本調査の必要性を理解する。 - 標本の性質から母集団の性質を推定する。 - アンケート(標本調査)を行い、結果を推定する。	☐ ☐ ☐
	3章 図形の性質(高校数学A)	p100	1節 三角形の性質	- 三角形と比 - 三角形の重心・外心・垂心・内心 - 三角形の比の定理	- 中学3年の相似な図形、中点連結定理の復習を行い、問題を解くことができる。 - 内分・外分の意味を理解し、図示することができる。 - 三角形の内角・外角の二等分線と辺の比の関係を理解し問題が解けるようにする。 - 内心・外心・重心・垂心・傍心を理解し、作図できるようになる。 - チェバの定理・メネラウスの定理を理解し、使えるようにする。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
学年末考査	3章 図形の性質(高校数学A)	p115	2節 円の性質	①円周角の定理 ②円に内接する四角形 ③接線と弦のつくる角 ④方べきの定理 ⑤2つの円	○ 中学3年の円周角の復習をし、基本事項の確認をする。 ○ 円周角を理解し、円に内接する四角形を理解する。 ○ 接線と弦のなす角を理解する。 ○ 円の性質・相似を基本に、方べきの定理を理解し、問題を解くことができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	
		p127	3節 作図	①基本的な作図 ②長さの作図	○ 中学1年の基本的な作図の復習を行い、長さの作図ができるようにする。	☐ 	
		p134	4節 空間図形	①直線と平面 ②多面体	○ 直線や平面の位置関係、2平面のなす角等を理解する。 ○ 多面体定理を理解する。	☐ ☐	

2020 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3年5組 ハイレベル	教科	数学	科目	数学A
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	1年2年の学習を基に発展的な内容を行い, 高校数学の基礎となる論理的思考力を養う。				
教材	未来へひろがる数学3 (啓林館) / 数学A Advanced(東京書籍)				
副教材等	【必携】 WinPass 中学数学3(文理) / Hi-PRIME 数学 I+A (東京書籍)				

1. 学習内容

（中学3年）

3章 2次方程式…2次方程式について理解し、利用できるようになる。

4章 関数 $y = ax^2$ …具体的な事象のなかから2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解する。また、それらの関数関係を見だし、表現し、考察できる。

（数学 I）

1章 数と式…文字を含んだ式の扱いに慣れる。整式の展開や因数分解ができる。根号を含んだ式の計算ができる。

（中学総復習）

高校入学前に、基礎的な内容から入試レベルまでの総復習を行い、実力をつける。

2. アドバイス

【予習】

シラバスを参考にして、授業のノートおよび教科書に目を通す。10分でよい。

【復習】

授業で扱った問題をその日のうちにもう一度解いてみる。

日頃より問題集を使い、類題を積極的に解いていく。

【その他】

始業ベル前に授業に必要なもの一式を机上に用意しておく。忘れ物をしない。

板書事項は見やすくノートに書き、自分の言葉で板書以外の重要部分を書き足していく。授業中の疑問点は、なるべくその日のうちに確認しておくこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

・小テスト ・朝テスト ・宿題 ・課題 ・ノート提出 ・授業を受ける姿勢

※上記項目を総合的に判断し成績をつけます。提出物の期限厳守。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	3章 2次方程式	p66	1節 2次方程式とその解き方	1 二次方程式	○ 二次方程式の意味を理解する。 ○ 二次方程式の解, 2次方程式を解くことの意味を理解する。 ○ 平方根の考えを使って二次方程式を解くことができる。 ○ 完全平方式をつくって二次方程式を解くことができることを知る。 ○ 解の公式を使って二次方程式を解くことができる。 ○ 「 $AB=0$ ならば $A=0$ または $B=0$ 」であることを理解し, それを利用して二次方程式の解を求めることができる。 ○ 因数分解を使って二次方程式を解くことができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		p79	2節 2次方程式の利用	1 二次方程式の利用	○ 二次方程式になるいろいろな問題例と, その立式における考え方を理解する。	☐
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期末考査	4章 関数 $y=ax^2$	p90	1節 関数 $y = ax^2$	①関数 $y = ax^2$ ②関数 $y = ax^2$ のグラフ	○ 事象のなかから $y = ax^2$ の関係にある量を見だし、式に表すことができる。 ○ 2乗に比例することの意味を理解する。 ○ 1組のx,y の値から$y = ax^2$ の式を求めることができる。 ○ $y = x^2$ のグラフとその特徴を理解する。 ○ $y = x^2$ のグラフをもとに、$y = ax^2$ のグラフをかくことができる。 ○ $y = ax^2$ のグラフの特徴を理解する。 ○ 身近に見られる放物線の例を知る。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		P102	2節 関数 $y = ax^2$ の値の変化	①関数 $y = ax^2$ の値の増減と変域 ②関数 $y = ax^2$ の変化の割合	○ 関数の増加減少について理解する。 ○ 関数の変域について理解する。 ○ 変化の割合の意味とその求め方を知る。 ○ 関数 $y = ax^2$ のいろいろな区間における変化の割合を求めることができる。 ○ 関数 $y = ax^2$ と1次関数の変化の割合を比べる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		p110	2節 いろいろな事象と関数	①関数$y = ax^2$の利用 ②いろいろな関数	○ 関数 $y = ax^2$ を利用して事実問題を解くことができる。 ○ 放物線と直線を利用して問題を解くことができる。 ○ 放物線と直線の交点を、連立方程式を利用して求められる。 ○ $y = ax^2$ 以外の関数のグラフをかいたり、その関数を利用して事実問題を解くことができる。	☐ ☐ ☐ ☐
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	1章 数と式（高校／数学Ⅰ）	p6	1節 式の計算	1整式 2整式の加法・減法・乗法 3因数分解	○ 文字を含んだ式の約束を確認し、正しく文字を扱うことができる。 ○ 加法，減法の仕組みを理解し，それらの計算ができる。 ○ 乗法公式を使うことによって，展開を能率的に行うことができる。 ○ 分配法則・乗法公式を逆に用いて因数分解できる。 ○ 複二次式・3次の乗法公式を使った因数分解ができる。	☐
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	☐
		p22	2節 実数	1実数 2根号を含む式の計算	○ 実数の分類ができる。 ○ 実数の特徴を理解し，結合法則・分配法則・交換法則を使って計算ができる。 ○ 2年次に学習した平方根の基礎的な計算ができる。 ○ 乗法公式を利用し，根号を含む式の計算ができる。 ○ 根号と絶対値の関係を理解し，計算ができる。	☐
		p34	3節 1次不等式	1不等式とその性質 21次不等式の解法 3不等式の応用	○ 不等号の意味を理解し，不等式の扱いに慣れる。 ○ 不等号の向きに注意しながら不等式を解くことができる。 ○ 連立不等式では共通部分を求めることを理解し，計算できる。	☐
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	☐
学年末考査	中学総復習		中学の総復習	中学1～3年の復習 高校入試演習	○ 中学校で学習した基本事項を再確認し，問題を解くことができる。 ○ 付属高校入試問題，公立高校入試問題を解くことができる。	☐

2020 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3年5組 ハイレベル	教科	数学	科目	数学 B
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	1年2年の学習を基に発展的な内容を行い，高校数学の基礎となる論理的思考力を養う。				
教材	未来へひろがる数学3（啓林館）／ 数学 A Advanced(東京書籍)				
副教材等	【必携】 WinPass 中学数学3(文理) Hi-PRIME 数学 I+A（東京書籍）				

1. 学習内容

(中学3年)

6章 円…円周角について学び、様々な角度が求められるようになる。円周角に関する定理についての理解を深める。

7章 三平方の定理…三平方の定理について理解し、それを用いることができる。

8章 標本調査…1年次の資料の整理をさらに進めて、調査の方法からその調査で得た資料をどう整理すると正しい理解につながるかを学習する。

(高校数学A)

3章 図形の性質…中学で学んだ図形の性質や合同・相似を復習しながら、それらを発展させ、
図形の問題が解けるようになる。

2. アドバイス

【予習】

シラバスを参考にして、授業のノートおよび教科書に目を通す。10分でよい。

【復習】

授業で扱った問題をその日のうちにもう一度解いてみる。

日頃より問題集を使い、類題を積極的に解いていく。

【その他】

始業ベル前に授業に必要なもの一式を机上に用意しておく。忘れ物をしない。

板書事項は見やすくノートに書き、自分の言葉で板書以外の重要部分を書き足していく。授業中の疑問点は、なるべくその日のうちに確認しておくこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

・小テスト ・朝テスト ・宿題 ・課題 ・ノート提出 ・授業を受ける姿勢

※上記項目を総合的に判断し成績をつけます。提出物の期限厳守。

4. 學習指導計畫

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	7章 三平方の定理	p180	1節 三平方の定理	[1]三平方の定理	○ 正方形の面積の関係を辺の長さの関係におきかえることから、三平方の定理の意味とその証明を理解する。 ○ 三平方の定理を使って辺の長さを求めることができる。 ○ 特徴的な直角三角形の辺の比を知る。 ○ 三平方の定理の逆を理解し、直角三角形であるかの判断をする。	☐ ☐ ☐ ☐
		p188	2節 三平方の定理の利用	[1]三平方の定理の利用	○ 正方形の対角線の長さや正三角形の高さ、長方形の対角線、二等辺三角形の高さを求めることができる。 ○ 特別な直角三角形の辺の長さの比を知り、それを利用して線分の長さを求めることができる。 ○ 円の弦の長さ、接線の長さを求めることができる。 ○ 直方体の対角線の長さを求めることができる。 ○ 円錐や角錐の高さを求め、体積を求めることができる。 ○ 定理を利用して、いろいろな問題を解くことができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	☐
1学期期末考査	V模擬対策		中学1，2年の復習	中学1，2年の復習	○ 中学1，2年生で学習したことを再確認し、問題を解くことができる。 ○ V模擬の過去問を解くことができる。	☐ ☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	6章 円の性質	p160	1 節 円周角と中心角	- 円周角と中心角 - 円周角の定理の逆	- 円周角と中心角の関係を理解し活用する。 - 直径上の円周角が直角となることを理解する。 - 円周角の定理の逆が成立することを確認することができる。 - 角度から、円に内接する四角形かどうかの判断ができる。	☐ ☐ ☐ ☐
		p170	2 節 円の性質の利用	円の性質の利用	- 円周角の定理を利用して接線を引けるようになる。 - 円周角の定理と相似の総合問題を考える。 - 方べきの定理を理解し、活用できるようになる。	☐ ☐ ☐
			演習		この単元の発展問題が解ける。	☐
2学期期末考査	8章 標本調査	p202	1 節 標本調査 2 節 標本調査の利用	- 標本調査の方法 - 母集団と標本の関係 - データを活用して問題を解決しよう	- 標本調査と全数調査の違いを理解し、標本調査の必要性を理解する。 - 標本の性質から母集団の性質を推定する。 - アンケート(標本調査)を行い、結果を推定する。	☐ ☐ ☐ ☐
			演習		この単元の発展問題が解ける。	☐
2学期期末考査	3章 図形の性質(高校数学A)	p100	1 節 三角形の性質	- 三角形と比 - 三角形の重心・外心・垂心・内心 - 三角形の比の定理	- 中学3年の相似な図形、中点連結定理の復習を行い、問題を解くことができる。 - 内分・外分の意味を理解し、図示することができる。 - 三角形の内角・外角の二等分線と辺の比の関係を理解し問題が解けるようにする。 - 内心・外心・重心・垂心・傍心を理解し、作図できるようになる。 - チェバの定理・メネラウスの定理を理解し、使えるようにする。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
学年末考査	3章 図形の性質（高校数学A）	p115	2節 円の性質	1 円周角の定理 2 円に内接する四角形 3 接線と弦のつくる角 4 方べきの定理 5 2つの円	○ 中学3年の円周角の復習をし、基本事項の確認をする。 ○ 円周角を理解し、円に内接する四角形を理解する。 ○ 接線と弦のなす角を理解する。 ○ 円の性質・相似を基本に、方べきの定理を理解し、問題を解くことができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		p127	3節 作図	1 基本的な作図 2 長さの作図	○ 中学1年の基本的な作図の復習を行い、長さの作図ができるようにする。	☐
		p134	4節 空間図形	1 直線と平面 2 多面体	○ 直線や平面の位置関係、2平面のなす角等を理解する。 ○ 多面体定理を理解する。	☐ ☐
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	☐

2021 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～5 組	教科	理科	科目	理科 1 分野
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	理科の学習の中から、1 つを取り上げ、報告できる。				
教材	『新編 新しい科学 3』 東京書籍				
副教材等	【必携】『中学必修テキスト理科3年(東京書籍版)』 学書 理科 I 用の B5 ノート 化学分野(1、2 学期)、物理分野(2、3 学期)				

1. 学習内容

1 学期はまず、2 年で学んだ化学分野の内容を復習します。様々な化学変化や化学反応式、原子の構造、イオンの生成について重点的に学びます。さらに電気分解のしくみについて学び、化学変化に電子が関係すること、その電子の移動のしかたなどについて学びます。期末試験では、電池について学習します。電気分解と同様、電子がどこから出てくるのか、どのように移動するのかポイントとなります。

2 学期はまず、酸・アルカリ、中和について学びます。この分野も引き続きイオンが関係してくるので、夏休み中にしっかりと復習しておきましょう。後半からは物体にはたらく力の性質や、力の種類を学びます。力を合成、分解することにより、それぞれの向きにはたらく力を分析できるようにします。物体の運動には力が関わっていることを知り、物体の運動について等速直線運動を中心に、運動のようすや速さの求め方を記録タイマーの実験を通じて学びます。また、斜面を下る運動のようすを記録し、速さが変化する運動についても学びます。

3 学期では仕事とエネルギーの分野に入ります。理科で使う仕事の意味を理解し、エネルギーはどのような性質を持っているのかを基礎知識として学びます。さらに力学的エネルギーの保存を中心に学びます。そして現在の私たちの生活を支えている科学技術がどのように発展してきたのかを学び、技術の発展がもたらす環境問題など生活全般に関わることを学んでいきます。

2. アドバイス

- ・暗記すべき事をしっかりと暗記すること。
- ・問題を解くときは、図に表して理解する習慣をつけること。
- ・授業では、ノートには板書のみならず、口頭でなされた説明もメモする習慣が大切である。
- ・指示された確認テストにしっかり取り組み、実験後のレポートは期限を守って提出すること。
- ・授業に集中して、参加すること。

成績は、試験の結果のみではなく、確認テストなども含めて出されるものです。その指標が上にあげた点です。また、授業時に毎時間確認テストを行いますので、しっかりと学習しましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査

平常点(確認テスト・実験・レポート提出・ノート提出)

4. 學習指導計畫

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	化学変化とイオン	10-25	水溶液とイオン	水溶液と電流	電解質と非電解質の違いがわかる。	☐
				電解質の水溶液の中で起こる変化	電気分解のしくみがわかる。 電気分解による化学変化を、化学反応式で表すことができる。	☐ ☐
				イオンと原子のなり立ち	原子の構造がわかる。 イオンのでき方がわかる。 代表的なイオンをイオン式で書ける。 イオン式と周期表の関係性がわかる。 代表的な物質が電離するときの式が書ける。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
1学期期末考査	化学変化とイオン	27-37	化学変化と電池	電解質の水溶液の中の金属板と電流	電流が流れるには、電解質の水溶液と 2 種類の異なる金属が必要であることがわかる。	☐
				電池の中で起こる変化	電池の＋極と－極の表面で起きている変化がわかる。 －極で電子を出す変化が書ける。 ＋極で電子を受け取る変化が書ける。	☐ ☐ ☐
				身のまわりの電池	一次電池と二次電池の違いがわかる。 燃料電池での変化がわかる。 身のまわりで使われている電池も、電解質の水溶液と金属などの電極を組み合わせでつくられていることがわかる。	☐ ☐ ☐
夏休み	復習		これまでに行った確認テストの復習 2 学期最初の授業時に、中学 1 年～中学 3 年 1 学期までに行った確認テストに関する復習テストを行います。各自で復習を行ってください。			☐

2学期中間考査	化学変化とイオン	40-57	酸、アルカリとイオン	酸性やアルカリ性の水溶液の性質 酸性、アルカリ性の正体とイオン 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化	酸の性質がわかる。 アルカリの性質がわかる。 酸性の水溶液に共通する物質がわかる。 アルカリ性の水溶液に共通する物質がわかる。 酸性・アルカリ性の強さを表すのにpHが用いられることがわかる。 中和がどのような現象がわかる。 中性がどのようなものかがわかる。 塩がどのようなものかがわかる。 中和によって何ができるかがわかる。 中和の化学反応式が書ける。 イオンの濃度と体積の関係がわかる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		112-125	物体のいろいろな運動	物体の運動 力がはたらかない物体の運動 運動の向きに力がはたらく物体の運動 運動と逆向きに力がはたらく物体の運動	速さを求められ、秒速から時速を求めることができる。 摩擦のない水平な面上で力を受けずに運動する物体の速さの特徴がわかる。 運動の向きに一定の力がはたらく物体の速さの特徴がわかる。 運動の向きと逆向きに一定の力がはたらく物体の速さの特徴がわかる。	☐ ☐ ☐ ☐
2学期期末考査	運動とエネルギー	126-139	力の規則性	力のつり合い 力の合成と分解 慣性の法則 作用・反作用の法則	2 力のつり合いの条件がわかる。 静止している物体、動いている物体にはたらく力とその特徴がわかる。 合力と分力がわかり、それらを作図することができる。 静止している物体は静止し続け、運動している物体は運動し続けることがわかる。 物体がもう1つの物体に力を加えると、必ず相手の物体から同じ大きさで逆向きの力を受けることがわかる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
			冬休み	復習	これまでにに行った確認テストの復習 3学期最初の授業時に、中学1年～中学3年2学期までにに行った確認テストに関する復習テストを行います。各自で復習を行ってください。	☐

3 学期学 年 末 考 査	運 動 と エ ネ ル ギ ー	140-165	エ ネ ル ギ ー と 仕 事	物 体 の も つ エ ネ ル ギ ー	運 動 エ ネ ル ギ ー、 位 置 エ ネ ル ギ ー の 大 き さ を 決 め て い る も の が わ か る。	☐
				力 学 的 エ ネ ル ギ ー の 保 存	運 動 エ ネ ル ギ ー と 位 置 エ ネ ル ギ ー の 間 に あ る 関 係 が わ か る。	☐
				仕 事 と 力 学 的 エ ネ ル ギ ー	仕 事 を 求 め る こ と が で き る。	☐
					仕 事 の 式 を 用 い て、様 々 な 計 算 問 題 が で き る。	☐
				仕 事 の 原 理 と 仕 事 率	仕 事 の 原 理 が わ か る。	☐
					仕 事 率 を 求 め る こ と が で き る。	☐
					仕 事 率 の 式 を 用 い て、様 々 な 計 算 問 題 が で き る。	☐
			エ ネ ル ギ ー の 移 り 変 わ り	い ろ い ろ な エ ネ ル ギ ー が 相 互 に 変 換 さ れ て 利 用 さ れ る こ と が わ か る。	☐	
			エ ネ ル ギ ー の 保 存	エ ネ ル ギ ー 変 換 し て も エ ネ ル ギ ー が 保 存 さ れ る こ と が わ か る。	☐	
春 休 み	復 習		中 学 1 ～ 3 年 生 に 行 っ た 確 認 テ ス ト の 復 習			☐
			高 校 か ら は、物 理、化 学、生 物 が そ れ ぞ れ 1 つ の 授 業 に 分 か れ ま す。中 学 で 習 っ た 内 容 が 基 礎 と な る の で、各 自 で し っ か り と 復 習 を 行 っ て く だ さ い。			

2021 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～5 組	教科	理科	科目	理科 2 分野
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	理科の学習の中から、1つを取り上げ、報告できる。				
教材	『新しい科学 3』 東京書籍				
副教材等	【必携】『中学必修テキスト理科3年(東京書籍版)』 学書				

1. 学習内容

生物分野では、まず細胞について学習します。細胞は中学 2 年次でも学習しましたが、生物学において非常に大切な分野の 1 つです。これまでに学習した内容をさらに深め、高校での生物の学習につなげていきます。細胞に続き、遺伝や生態系についても深く学習します。遺伝子や DNA に関する研究は現在、飛躍的に進歩し、それに伴い私たちの生活にも密接に関係しています。また、生態系の学習では、地球で生活する私たちが必ず考えなければならない環境問題を考える上で必要な知識を身につけます。ただ単に教科書の内容を学習するだけでなく、これらの学習を通して科学や地球上の問題を少しでも身近なものとして感じてもらいたいと思います。

地学分野では天体について学習します。見かけ上の太陽や星の動きは普段から私たちが見ているものです。そのしくみを学ぶことにより、より天体を身近なものと感じてもらいます。さらに、私たちが生活する地球以外の惑星、宇宙の構造など、より広い世界に科学的な視点から目を向けます。

2. アドバイス

- ・暗記すべき事をしっかり暗記すること。
- ・問題を解くときは、図に表して理解する習慣をつけること。
- ・授業では、ノートには板書のみならず、口頭でなされた説明もメモする習慣が大切である。
- ・出される宿題、指示された小テストにしっかり取り組むこと。
- ・授業に集中して、参加すること。

成績は、試験の結果のみではなく、小テストなども含めて出されるものです。その指標が上にあげた点です。また、授業時に小テストを行いますので、しっかりと学習しましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査

平常点(小テスト・実験・宿題・ノート提出)

4. 學習指導計畫

[illegible]

2 学期期末考査	地球と宇宙	192-251	月と金星の見え方 宇宙の広がり	月の満ち欠け 日食と月食 金星の見え方 太陽系の天体 宇宙の広がり	月の満ち欠けのしくみ 月の特徴 日食と月食のしくみ 金星の満ち欠け 太陽系の構造 太陽系の惑星の特徴 銀河系の構造 惑星以外の天体	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
			プラネタリウム見学 1、2 学期に行ったテストの復習 3 学期最初の授業時に、1、2 学期に学習した内容に関する試験を行います。 各自で復習を行ってください。			☐
3 学期学年末考査	地球と私たちの未来のために	253-278	自然のなかの生物 自然環境の調査と保全	生態系 生態系における生物の役割 炭素の循環と地球温暖化 身近な自然環境の調査 人間による活動と自然環境 自然環境の開発と保全	生態系の構成 食物連鎖と食物網 食物連鎖における個体数の変化 生産者と消費者、分解者のはたらき 炭素の循環 地球温暖化 窒素の循環 身近な環境調査 外来生物とその影響 自然環境の保全	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		301-311	持続可能な社会をつくるために	地球環境と私たちの社会	環境問題とそれを解決するための科学技術	☐

令和 3 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～5 組	教科	音楽	科目	音楽
				単位数	1
「学び」の目標とねらい	音楽の知識・技術を深め、歌詞の内容を理解しながら味わって歌えるようになる				
教材	中学生の音楽 2・3 下、中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材等	【必須】キミウタ 【必須】アルトリコーダー				

1. 学習内容

○ 表現

- (1) 歌唱…混声合唱曲を通して、歌詞の内容を味わい、表現を工夫して歌う
- (2) 器楽…アルトリコーダーの特徴、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、表現を工夫して合奏する
- (3) 創作…表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくる

○ 鑑賞

- (1) 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞する
- (2) 我が国の伝統音楽や諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して鑑賞する

2. アドバイス

- 2 月に合唱コンクールが行われます。中学生の最高学年としての自覚を持ち、クラスで協力して臨みましょう。
- 実技教科です。週 1 回の授業を大切にし、積極的に授業に参加しましょう。
- 3 学期には卒業式を迎えます。式典の歌で、最高学年としての集大成を見せましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

実技試験(授業内)・筆記試験(期末考査)・授業中の取り組み・提出物

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	心通う合唱をしよう・作曲者の思いを感じ取ろう	4-7	『花』	我が国の音楽に親しむ	それぞれのパートを歌える	☐
			クラス合唱	歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫する	声部の役割を感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う	☐
					全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う	☐
		32-35	『ブルタバ（モルダウ）』	曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら鑑賞する	作曲者が記した標題や当時の時代背景を手がかりに、曲に託された思いを感じ取る	☐
2学期	我が国の音楽に親しもう歌詞の美しさを味わおう	36-39	雅楽『越天楽』	我が国の音楽に親しむ	音楽の特徴と文化的背景を関連づけて鑑賞する	☐
		64-65	『旅立ちの日に』	美しいハーモニーで、曲想を感じ取って表現を工夫する	曲想を感じ取って味わいながら歌う	☐
			アルトリコーダー	器楽表現	全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら演奏する	☐
3学期	歌詞を理解して表現しよう	72	合唱コンクールに向けての練習	歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫する	全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う	☐
			『仰げば尊し』	詩と音楽を形づくっている要素を理解して表現する	言葉の特性を生かして歌う	☐

令和 3 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～5 組	教科	美術	科目	美術
				単位数	1
「学び」の 目標とねらい	制作を通して感性と創造性を高める。				
教材	美術 2・3 上、下(開隆堂)				
副教材等	筆記用具、エプロン、絵の具セット など				

1. 学習内容

さまざまな素材を通じて発想力を育てる。

ものを作る前、「五感で感じる」ことについて考え、さまざまな素材に触れることで、素材の特性を理解し、今後の創作活動につなげていく。

2. アドバイス

試行錯誤の連続が力のある作品を生み出します。

いい作品を作るという気持ちを大切にすること。

より良い作品ができるよう、授業時間を有効に使って取り組んでください。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

授業態度、作品、定期考査の結果を元に評価します。

作品の提出が大前提です。

評価は「作品に対する取り組み方」、「完成度」を基準とする。

上手い下手よりも、丁寧さを重視して評価します。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	絵画		自画像	○自分について考察 ○下絵制作	自分に関心を持ち、個性を考え、言語化する。 自分らしさを絵で表現する。	☐ ☐
1学期期末考査	絵画		自画像	○絵の具を用いた自画像制作	画材の特性を生かし、自分の表現意図に応じて効果的な表現方法を工夫しながら描く。	☐
2学期中間考査	彫刻		作品デザイン	○鍋敷きのデザイン ○彫刻刀の使い方	テーマ・見通しをもってデザインを考える。 刃物の種類や使い方、取り扱いについて理解する。	☐ ☐
2学期期末考査	彫刻		木彫	○鍋敷き制作	彫刻刀を安全に使う。 色彩、押し方などの表現を工夫し、イメージを膨らませて作成する。	☐ ☐
3学期学年末考査	デザイン		ダブルイメージ トリックアート	○トリックアート ○文字のデザイン	トリックアートの構造を理解する。 試行錯誤しながら自分で考える姿勢を養う。	☐ ☐

令和3年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～5 組	教科	技術・家庭	科目	家庭
				単位数	0.5
「学び」の 目標とねらい	自分の生活を振り返って、背景にある原理や仕組みを理解し、よりよい生活を創造するために、知識や技術、自分なりの考え方、価値観を育もう。				
教材	技術・家庭 家庭分野(教育図書)				
副教材等	【必携】準拠ノート・ファイル(両方中学 1 年生のときに配布済)				

1. 学習内容

自分の人生や生活を深くみつめます。よりよい生活とはどのようなものかを実践的・体験的な学習活動を通して考え、生活の自立を目指します。中学校家庭科は「自分の生活について考える・体験する・身に付ける」をテーマにしています。

2. アドバイス

- 1 真剣に自分自身と向き合うこと
- 2 あらゆるものに興味を持って取り組むこと
- 3 ものごとに対してより深い思考・判断ができ、それを表現できるようになること

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査
平常点(課題、ノート、製作作品、授業に取り組む姿勢)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期期末考査	食べる	102-133	献立作成と食品の選択	1日分の献立を立てる	中学生の1日分の献立を考えることができる。	☐
		134-141	食品の調理	調理の計画・技術 準備一式支度	調理に必要な知識・技能を習得し、実生活に活用できる。	☐
			日常食の調理と地域の食文化	地域の食文化をみつめよう	地域の食文化について関心を持つ。 地域の食文化に関する調理を通して、食文化創造に取り組む。	☐ ☐
2学期期末考査	食べる	94-101	献立作成と食品の選択	食品の品質の見分け方と適切な選択	食品の品質の見分け方を知り、適切な選択をすることができる。	☐
	消費生活と環境	230-259	わたしたちの消費生活	いろいろな販売方法・支払方法 買い物の契約とトラブルと解決方法	いろいろな販売方法や支払い方法を理解する。 契約について理解し、契約により権利と義務が発生することを理解する。 消費者トラブルの解決方法と予防法を理解する。	☐ ☐ ☐
3学期学年末考査	消費生活と環境	258-271	家庭生活と環境	消費生活と環境とのつながり いまわたしたちにできること	消費生活と環境とのつながりについて理解し、消費行動が環境に与える影響について考えることができる。 持続可能な社会について関心を持ち、環境に配慮した消費行動について考え、工夫できる。	☐ ☐
	まとめ		まとめ	家庭科の学びのまとめ	3年間の学びをまとめる。	☐

令和 3 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1 組～5 組	教科	技術・家庭	科目	技術
				単位数	0.5
「学び」の 目標とねらい	プログラミングは、「考える力」「問題解決能力」を身につける分野。失敗しても何 度でもチャレンジして正解を導き出そう。				
教材	技術・家庭（技術分野）				
副教材等	ファイル（中1・中2の時のもの）				

1. 学習内容

中1・中2の時と同様、技術と家庭科を交互にやっていきますが、時間数が週に1時間になります。ガイダンスの際に、予定表を配りますので、それにしたがって準備するようにしてください。なお、やむを得ない休校などがあった場合には、予定が変更になることがあるので、連絡をよく聞くようにしてください。

3年生では、通年を通して、「情報に関する技術」を学習します。様々なところで活躍している機械類がすべてプログラミングで制御されていることを知り、制御の仕組みや考え方を覚え、自分で機器を制御できるようにしていきます。プログラミング制御において失敗はつきものですが、「なぜ失敗したのか」という原因を考え、次につなげることが大切です。

2. アドバイス

成績は、技術・家庭科として、技術分野と家庭分野を50点ずつ足した、100点満点で出ます。学習内容はそれぞれ全く違いますが、評価は一緒に出てくるので、両方しっかりと取り組むようにしましょう。

定期テストは、1学期期末テスト、2学期期末テスト、学年末テストの3回行います。中間テストは行いません。試験範囲はファイル中心なので、日頃からプリントをしっかりと管理するようにしましょう。また、実習の内容についても出題されるので、人任せにせず、積極的に参加するようにしましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期テスト
- ・ファイル提出
- ・授業を受ける姿勢
- ・問題解決能力

4. 學習指導計畫

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	情報に関する技術	218	生活の中にある制御	●社会で活躍するロボット、ロボットの種類、ロボットが動く仕組み ●タブレットを使ったプログラミング、プログラムの転送・保存 ●ロボットの操作に慣れる。 ●前回のプログラムを使い、より発展した課題に取り組む。	●マインドストームの仕組み・動かし方を知る。 ●タブレットによるプログラミングの方法を知る。 ●ロボット試走（前進・後進・カーブ・右折・左折・回転など） ●プログラミング制御で迷路を脱出するプログラムを考える。	☐ ☐ ☐ ☐
2学期	情報に関する技術			●超音波センサーの役割、身の回りのロボットで使われているセンサーを考える。 ●カラーセンサーの役割、身の回りのロボットで使われているセンサーを考える。 ●ジャイロセンサー・タッチセンサーの役割、身の回りのロボットで使われているセンサーを考える。 ●ミッションをクリアする	●超音波センサーを使って、壁に当たらないように動き回るプログラムを考える。 ●色を識別して、黒線を通したら回転するプログラムを考える。 ●迷路を脱出する（ジャイロセンサー・タッチセンサーを利用） ●班で協力してミッションをクリアしていく。	☐ ☐ ☐ ☐
3学期	情報に関する技術	192	情報モラル	●情報モラル（SNS）	●ビデオを見て、SNSについて正しく理解する。	☐
		198	情報モラルと知的財産	●情報モラル（著作権）	●ビデオを見て、著作権について正しく理解する。	☐
		235	情報社会を生きるために	●テクノストレスやコミュニケーションについて正しく理解する。	●ビデオを見て、情報モラルについて正しく理解する。	☐

2021 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～5 組 5 組ハイレベル	教科	外国語	科目	英語
				単位数	6
「学び」の 目標とねらい	英語を使って広範な情報を取り入れ、理解と考察、やり取りを経て自らの意見を発信できるようになることを目指す。また、多様な価値観と文化に触れ、異文化の人々と共に持続可能な社会を築く姿勢を身につける。				
教材	『NEW HORIZON English Course 3』（東京書籍）				
副教材等	『エイゴラボ③』（正進社） 『Challenge 英和・和英辞典』（ベネッセ） 『ACE CROWN 英和辞典』電子版（三省堂・「ことまな」に収録） ELST〔AI 支援型発音練習プラットフォーム〕（サインウェブ） Online Speaking Training〔オンライン英会話プラットフォーム〕（ベネッセ）				

1. 学習内容

◎言語は思考を支えるオペレーティングシステムであり、自分と社会をつなぐインターフェースである。

人は思考をするとき必ず言語を用いる。語彙を使い、論理を駆使し、計算や演算をする。
また、人は意思疎通にも言語を用いる。共感し、対話し、議論し、合意し、協働協創する。
思考と交流の基礎を支える意味において、言語・論理・数学は最も根本的な学問である。
そこから視点を人の営みに向ければ「社会」に、自然の営みに向ければ「理科」につながる。
各教科は独立に存在するのではなく、言語・論理・数学の上に応用教科が展開されるのだ。
では思考や交流の基礎となる言語を複数使う者はそれを1つだけ使う者と比べ何が違うか。
マルチOSで思考や社会と関わるから、全教科全人生で新たな視野と深さを得ることになる。
かように、外国語を学び身につけることは、学びと人生に新たな次元を導入することなのだ。

……ちょっと難しいかもしれませんが、そんな視点で英語を学んでみましょう。

今年度学ぶ内容が身につけば、英語での意思疎通に必要な最低限の語彙と仕組みを習得することができます(英検で言えば準2級程度)。これは高校での学習にも大きな力となります。

言語は実技。本質の理解と正しい練習の継続に重点を置いて、確実な習得を目指そう。

2. アドバイス

「知之者、不如好之者。好之者、不如樂之者。」(『論語』雍也篇)

……というわけで、学びを楽しもう。そして続けよう。楽しいことは、続けられる。続ければ、身につく。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期考査
- ・平常点(授業態度・小テスト・課題・実技試験・提出物など)

4. 学習指導計画

時期	主題	ページ	単元名	学習内容	到達度目標	確認
1学期中間考査	過去と現状をリンク	004-005	Unit 0	受け身の表現	受け身の表現を習得している	☐
		007-016	Unit 1	現在完了形 SVOC SVOO	現在完了形の経験用法を理解	☐
		017	Let's Write 1	現在完了形 SVOC	現在完了形で経験を表現できる	☐
		018	Let's Listen 1	現在完了形 SVOC SVOO	現在完了形を使った内容を理解	☐
		019-028	Unit 2	現在完了形, 完了進行形	継続用法と完了進行形の理解	☐
1学期期末考査	不定詞の活用あれこれ	029	Let's Talk 1	現在完了形, 完了進行形	相手に配慮した表現ができる	☐
		032-033	Learning SCIENCE in English	受け身, 完了, 完了進行	食物連鎖と生態系の内容を理解	☐
		034	Let's Listen 2	現在完了形, 完了進行形	講演を聞き伝えたい内容を理解	☐
		035-044	Unit 3	形式主語, 原形不定詞等	様々な不定詞の活用法を理解	☐
		045	Let's Write 2	意見と理由の記述作法	意見と根拠を正しく構成する	☐
		048-051	Stage Activity 1	既習事項の復習と活用	報告の理解と即興対話ができる	☐
		052-055	Let's Read 1	既習事項を活用した読解	内容理解し気持ちを込めて読む	☐
2学期中間考査	後置修飾で詳しく表現	056	Let's Listen 3	未知語を含めた聞き取り	行動に必要な情報を聞き取れる	☐
		057-066	Unit 4	間接疑問 SVOO 分詞修飾	疑問詞の応用と後置修飾を理解	☐
		067	Let's Talk 2	助動詞活用した意思疎通	手助け提案と意向確認ができる	☐
		068-069	Learning CIVICS in English	間接疑問文の応用	資料を読み考えて発表ができる	☐
		070	Let's Listen 4	分詞を用いた後置修飾	報道要旨を掴み整理伝達できる	☐
		071-080	Unit 5	接触節, 関係代名詞節	節による後置修飾を理解できる	☐
2学期期末考査	非現実のキモチを表現	081	Let's Write 3	関係代名詞節の活用	事実と意見を整理し表現できる	☐
		084-087	Stage Activity 2	既習事項の総復習	日本の郷土と文化を議論・紹介	☐
		088	Let's Listen 5	SVOO (O ₂ =what 節) の活用	インタビューから経歴等を理解	☐
		089-098	Unit 6		非現実の「キモチ」を表現できる	☐
		099	Let's Talk 3	仮定法 (過去形の活用)	賛否の表明と建設的な議論展開	☐
		101	Let's Listen 6	相手の意見に対する主張	構成と動詞の形から正確に理解	☐
		102-105	Stage Activity 3	仮定法を含む話の聴解 既習事項の総復習	論理的思考でディベートできる	☐
学年末考査	総復習	106-109	Let's Read 2	既習事項を活用した読解	長所短所を比較する文章を読解	☐
		110-113	Let's Read 3	既習事項を活用した読解	メッセージの要点を正確に読解	☐

《補足》

- ・各自ノートを用意してください。詳しくは授業開始時に説明します。
- ・習熟状況と進度に応じて適宜他の素材を用いることがあります。
- ・日常的に ELST を用いた音読練習や Classi への音読ファイル提出等を行っていきます。
- ・オンライン授業に切り替わる可能性を踏まえ、PC で学習や復習ができる教材を用意します(昨年と同様)。
- ・長期休業中には課題が出されます。

- ・学力推移調査や高校入試に向けた準備も授業に組み入れます。